

フォトランゲージ（写真合わせ）

所要時間 20～45分

対象 小学校高学年以上

ねらい

- 様々な状況の中で共に生きている人々の姿や思いに関心をもつ。
- 写真合わせをする活動によって、コミュニケーションをとる楽しみを知ったり、自分の見方に思い込みがあることに気づいたり、人によって見方・考え方が違うことよさに気づく。

準備

- ・様々な状況の中で共に生きている人々の写真や絵を半分に切ったもの（学習者の人数分）
- ・写真の簡単な説明文を印刷した資料（学習者の人数分）

進め方

導入

展開

振り返り

活動の流れ（指導者の教示、子どもの反応・行動）

- 1 写真（絵）を半分に切ったものを児童生徒の人数分用意し、活動内容を説明する。
 - ・半分の写真をよく見て、どんな内容か想像する。
 - ・あと半分を持っている人をさがす。
- 2 学習者に一人一枚ずつとってもらおう。
- 3 「よく観察してみよう。想像してみよう。」
（誰が何をしているところか、どんな気持ちか、残りの半分はどんな写真か等）
- 4 あと半分の写真を持っている人を探す。2人組になって、前の席から座っていく。
（写真を見せ合わずに、コミュニケーションを取りながら相手を探す方法もある。）
- 5 初めに写真と出会った時の感想や、自分が予想したことと比べ、どうだったか、お互いに感想を出し合う。
- 6 感想のいくつかをペアで発表してもらおう。
 - ・人によって見方・考え方が違うことや、そのよさについて確認する。
- 7 写真を黒板に貼る。いくつかの写真について説明をし、今後学んでいく人権課題について紹介する。
 - ・様々な状況の中で、困難やハンディを乗り越え、一生懸命生きている多くの人たちがいることを確認する。

留意点等

- 児童生徒の発達段階に合った写真を用意。
- 写真の裏側に番号を入れておき、写真の説明資料には、その番号ごとに簡単な説明文を作っておく。
- 写真の裏側に磁石を付けておくと、黒板等に張って掲示し、その後の話し合いに活かせる。
- フォトランゲージを導入として、個別の人権課題についてさらに学習を深める流れが考えられる。